

# 国際学術研究会『交響する古代Ⅷ』

11月30日(木)

10:30開場／11時開始

全体テーマ ー古代文化資源の国際化とその意義 vol.3ー

会場: 明治大学アカデミーコモン2階 A5・6会議室

※申込不要・入場無料

※初日・2日目で会場が異なります。ご注意ください。

【院生発表】11時～12時

里舘翔大(明治大学大学院)

「筑前国嶋郡戸籍の造籍方針ー嶋評戸口変動記録木簡に触れてー」

関恭平(明治大学大学院) 「源氏物語末摘花巻における「葎の門」の話型と自然表現」

【報告】13時～17時30分(途中休憩あり)

申敬澈(韓国・釜山大学校名誉教授) 「加耶の情勢変動と倭」

ヨハネス・ヴィルヘルム(慶應大学総合政策学部准教授)

「岡正雄とウィーン大学における日本研究の発祥と流れ」

石川日出志(明治大学文学部教授・日本古代学研究所所長) 「杉原荘介と中韓考古学交流」

佐々木憲一(明治大学文学部教授) 「杉原荘介の北アメリカ研究者との交流」

井川史子(カナダ・マギル大学名誉教授) コメント「杉原先生・岡先生と海外交流」

12月1日(金)

10:30開場／11時開始

会場: グローバルフロント1階 多目的室

※初日と会場が異なります。

【院生発表】11時～12時

橋本剛(早稲田大学大学院) 「格からみた律令国家の帰化政策」

山口直美(明治大学大学院) 「文学からみるタケウチノスクネ研究」

【報告】13時30分～17時30分(途中休憩あり)

湯浅幸代(明治大学文学部准教授)

「江戸中期における『源氏物語』注釈書・土肥経平『花鳥芳囀』について」

牧野淳司(明治大学文学部教授) 「源氏物語注釈の諸相」

志村佳名子(明治大学研究・知財戦略機構研究推進員)

「明治大学中央図書館所蔵『除秘鈔』『除秘鈔附』の「発見」とその意義」

矢越葉子(明治大学研究・知財戦略機構研究推進員)

「日中古代史料群のデータベースとその活用」

加藤友康(明治大学大学院特任教授)

「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(新大型研究)における統合型検索システムの開発と文化資源化」